

令和7年度大学入学者選抜（令和6年度実施）について（予告）（第二報）

東京学芸大学

本学では、令和6年度に実施する令和7年度大学入学者選抜について、以下のとおり行うことを予定しております。また、今後、新たに予告する内容が決まりましたら、順次お知らせします。

なお、お知らせした内容について、一部修正や変更をさせていただく場合もございます。つきましては、本学公式ウェブサイト（<https://www.u-gakugei.ac.jp/>）内の「学部入試情報サイト」、並びに令和6年度に公表する「令和7年度入学者選抜要項」「令和7年度学生募集要項」についても、必ずご確認くださいませようお願いします。

令和7年度入学者選抜において学生を募集する教育学部の各コース・プログラム

課程	専攻	コース・プログラム	課程	専攻	コース
学校教育 教員 養成 課程	初等教育専攻 (略称：A類)	国語コース	教育支援課程	教育支援専攻 (略称：E類)	生涯学習・文化遺産教育コース
		社会コース			カウンセリングコース
		数学コース			ソーシャルワークコース
		理科コース			多文化共生教育コース
		音楽コース			情報教育コース
		美術コース			表現教育コース
		保健体育コース			生涯スポーツコース
		家庭コース			
		英語コース			
		現代教育実践コース 学校教育プログラム			
		現代教育実践コース 学校心理プログラム			
		現代教育実践コース 国際教育プログラム			
		現代教育実践コース 環境教育プログラム			
		ものづくり技術コース			
	幼児教育コース				
	中等教育専攻 (略称：B類)	国語コース			
		社会コース			
		数学コース			
		理科コース			
		音楽コース			
		美術コース			
		保健体育コース			
		家庭コース			
		技術コース			
		英語コース			
	特別支援教育専攻 (略称：C類)	書道コース			
		情報コース			
養護教育専攻 (略称：D類)	養護教育コース				

今回お知らせする内容

既に公表している「予告（第一報）」も併せてご確認ください。

1. 【学校推薦型選抜】
 - (1) 出願資格 (2) 東京学芸大学入学試験の出題教科・科目等
2. 【総合型選抜】
 - (1) 出願資格及び出願要件 (2) 入学者選抜方法 (3) [第二次選考] 東京学芸大学入学試験の出題教科・科目等
3. 【国際バカロレア選抜】
 - (1) 出願資格 (2) 東京学芸大学入学試験の出題教科・科目等

※各選抜区分の募集人員等や配点については、決まり次第お知らせしていきます。

1. 【学校推薦型選抜】

(1) 出願資格

次の基礎資格及び推薦要件を満たす者で、学校長が優れていると認め、責任をもって推薦できる者。募集する専攻、コース・プログラムごとに1校当たりから推薦できる人数は、下表の推薦要件欄に記載する。

【基礎資格】 次に示す①から④のいずれかに該当すること。

- ① 高等学校、もしくは中等教育学校を平成31年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- ② 特別支援学校の高等部の課程を平成31年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者
- ④ 上記①から③のいずれにも該当しない者で中等教育専攻（B類）技術コースを志願する者に限り、高等専門学校の第3学年を平成31年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

【推薦要件】 志願する専攻、コース・プログラムの推薦要件をすべて満たすこと。

(注) 令和2年3月までに卒業又は修了した者については、推薦要件中の「学習成績の状況」を「評定平均値」と読み替えるものとする。

課程	専攻(類)	コース・プログラム	推薦要件
学校教育 教員養成 課程	初等 教育 専攻 (A類)	国語コース	1. 人物、学力ともに優れ、国語に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		理科コース	1. 人物、学力ともに優れ、理科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 「物理」「化学」「生物」「地学」のうち少なくとも2つを履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		美術コース	1. 人物に優れ、美術に深い関心と能力を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 美術又は工芸等の科目を履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
		保健体育コース	1. 人物に優れ、保健体育に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 校内、校外の体育・スポーツ活動に積極的に参加し、優れた実績や能力を有する者 4. 体育・スポーツ活動を継続しようとする意志が強固である者 5. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
		家庭コース	1. 人物、学力ともに優れ、家庭科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 家庭科の成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
		英語コース	1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		現代教育実践コース 学校心理プログラム	1. 人物、学力ともに優れ、学校心理学に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1校当たり2名以内とする
		現代教育実践コース 国際教育プログラム	1. 人物、学力ともに優れ、本プログラムに関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 学校の内外を問わず、国際交流活動に参加した経験を有する者あるいは国際交流活動への参加を計画していた者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		ものづくり技術コース	1. 人物、学力ともに優れ、ものづくりと技術に興味があり、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
幼児教育コース	1. 人物、学力ともに優れ、将来幼稚園教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする		

【学校推薦型選抜】

課程	専攻(類)	コース	推薦要件
学校教育教員養成課程	中等教育専攻 (B類)	国語コース	1. 人物、学力ともに優れ、国語に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		理科コース	1. 人物、学力ともに優れ、理科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 「物理」「化学」「生物」「地学」のうち少なくとも2つを履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		美術コース	1. 人物に優れ、美術に深い関心と能力を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の芸術及び他のいずれか1教科の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 美術又は工芸等の科目を履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
		保健体育コース	1. 人物に優れ、保健体育に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 校内、校外の体育・スポーツ活動に積極的に参加した者 4. 次頁に記載した「中等教育専攻 (B類) 保健体育コース試験種目一覧」に示した種目において、公式戦に選手として出場した者あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者 5. 当該種目を継続しようとする意志が強い者である者 6. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
		技術コース	1. 人物に優れ、学習意欲旺盛で、将来中学校 (技術科) 又は高等学校 (工業科) の教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		英語コース	1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		書道コース	1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		特別支援教育専攻 (C類)	
	養護教育専攻 (D類)	養護教育コース	1. 人物、学力ともに優れ、子供の健康への関心が高く、将来養護教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする

【学校推薦型選抜】

課程	専攻(類)	コース	推薦要件
教育支援課程	教育支援専攻 (E類)	カウンセリングコース	1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
		ソーシャルワークコース	1. 人物、学力ともに優れ、社会福祉の理論と実践に強い関心のある者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
		表現教育コース	1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする

(2) 東京学芸大学入学試験の出題教科・科目等
学校教育教員養成課程

【学校推薦型選抜】

専攻(類)	コース・プログラム	出題教科・科目等	○は必修科目を示す	受験科目数	摘要	
初等教育専攻 (A類)	国語コース	小論文	文接	1	□面接試験を含む	
	理科コース	小論文	文接	1		
	美術コース	小論文	文接	1	□面接試験を含む	
	美術コース	図工・美術実技	文接	1		
	保健体育コース	書類	体育実技	文接	1	書類は本表下欄の枠内を要確認 体育実技は本表下欄の枠内を要確認
		小論文	文接	1		
	家庭コース	小論文	文接	1		
	英語コース	小論文 (英語によるものを含む)	文接	1		
		面接 (英語によるものを含む)	文接	1		
	現代教育実践コース 学校心理プログラム	小論文	文接	1		
小論文		文接	1			
現代教育実践コース 国際教育プログラム	小論文	文接	1			
	小論文	文接	1			
ものづくり技術コース	小論文	文接	1	作品や、それを提示するための資料等の持込不可。面接は□面接試験を含む。		
幼児教育コース	小論文	文接	1			
中等教育専攻 (B類)	国語コース	小論文	文接	1	□面接試験を含む	
	理科コース	小論文	文接	1		
	美術コース	小論文	文接	1	□面接試験を含む	
	美術コース	美術実技	文接	1		
	保健体育コース	体育実技	文接	1	体育実技は本表下欄の枠内を要確認	
		小論文	文接	1		
	技術コース	小論文	文接	1	作品や、それを提示するための資料等の持込不可。面接は□面接試験を含む。	
英語コース	小論文 (英語によるものを含む)	文接	1			
	面接 (英語によるものを含む)	文接	1			
書道コース	小論文	文接	1			
書道コース	書道実技	文接	1			
	書道理論	文接	1			
特別支援教育専攻 (C類)	小論文	文接	1			
養護教育専攻 (D類) 養護教育コース	小論文	文接	1			
	小論文	文接	1			

「小論文の概要」及び「実技試験等の内容」については、令和6年度に公表する「令和7年度入学者選抜要項」「令和7年度学生募集要項」にてご確認ください。

【学校推薦型選抜】初等教育専攻 (A類) 保健体育コースの「書類」について

令和7年度より、初等教育専攻 (A類) 保健体育コースでは、出願時に提出される書類を点数化します。書類は同コース専用の様式となり、内容は志望理由、活動報告 (スポーツ競技・他の活動)、活動報告に記された内容の証明書、等とします。

【学校推薦型選抜】初等教育専攻 (A類) 保健体育コースの「体育実技」について

令和7年度より、初等教育専攻 (A類) 保健体育コースの「体育実技」は、これまで実施してきた「所定の試験種目一覧から選択」する方式から、複数の基礎的な運動の出来映えを評価する「基礎運動技能テスト」(仮称) に変更します。

【学校推薦型選抜】中等教育専攻 (B類) 保健体育コースの「体育実技」について

令和7年度以降の中等教育専攻 (B類) 保健体育コースの「体育実技」は、これまでと同様に下記の試験種目一覧から1種目を選択します。

(中等教育専攻 (B類) 保健体育コース試験種目一覧)

陸上競技 (以下から1種目: 100m走、400m走、800m走、1500m走、1500m競歩、走り幅跳び、走り高跳び、三段跳び、棒高跳び、砲丸投げ、円盤投げ、やり投げ、男子55mハードル走 (110mハードル走に準じる)、女子50mハードル走 (100mハードル走に準じる))、競泳 (*)、バレーボール (男子)、サッカー (男子)、ソフトボール (女子)、剣道、柔道、ラグビー、体操競技 (男子: 6種目、女子: 4種目)

(*) 競泳の推薦要件として認められる種目は個人メドレー、自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライのいずれか (リレーを含む。距離は問わない) とし、それ以外は認めない。



教育支援課程

【学校推薦型選抜】

専攻 (類)	コース	出題教科・科目等	◎は必須科目を示す	受 験 科目数	摘 要
教育支援専攻 (E類)	カウンセリングコース	小面	論 文 接	◎ ◎ 1 1	
	ソーシャルワークコース	小面	論 文 接	◎ ◎ 1 1	
	表現教育コース	小面	論 文 接	◎ ◎ 1 1	

「小論文の概要」及び「実技試験等の内容」については、令和6年度に公表する「令和7年度入学者選抜要項」「令和7年度学生募集要項」にてご確認ください。

2. 【総合型選抜】

令和7年度大学入学者選抜から一部の専攻・コース・プログラムにおいて、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定する「総合型選抜」を実施いたします。

「総合型選抜」では、出願書類・小論文・適性検査・面接等によって、本学が求める基礎学力や「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」などを評価しつつ、卒業後に学校教員（教育支援課程の場合は教育支援職）になるという強い意欲や、そのための適性等も重視しながら、総合的に判定をします。

なお、本学では「学校推薦型選抜」と「総合型選抜」の同時出願（併願）はできません。

(1) 出願資格及び出願要件 **【R5.10.11 追記・一部修正】**

出願資格の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ、出願要件の(1)(2)の両方に該当する者のみ出願が可能です。

【出願資格】

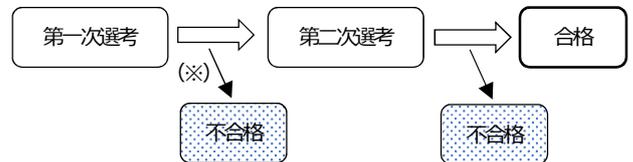
- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で18歳に達した者
 - ⑥ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
 - ⑦ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、本学の教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもので、18歳に達した者

【出願要件】

- (1) 卒業後に学校教員（教育支援系の場合は教育支援職）になるという強い意欲を有している者
- (2) 合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者

(2) 選考の方法

- ① 第一次選考 各出願書類による選考を行います。
 - (※) 志願者数が本学の第二次選考対応可能人数を上回った場合の対応
 - ・二段階選抜を実施（第一次選考において不合格とする）します。
 - ・第一次選考において不合格となった志願者には、検定料の一部を返還します。
- ② 第二次選考 小論文、適性検査、面接等による選考を行います。
 [本学では「大学入学共通テスト」は利用しません。]



(※) 志願者数が本学の第二次選考対応可能人数を上回った場合に二段階選抜を実施

(3) 【第二次選考】東京学芸大学入学試験の出題教科・科目等

課程	専攻(類)	コース・プログラム	第二次選考の出題教科・科目等 面談に「*」が付してある場合は（個人面接または集団面接）となります。
学校教育教員養成課程	初等教育専攻(A類)	音楽コース	小論文、適性検査（音楽特技）、面接*（口頭試問を含む）
		美術コース 【R5.11.9 一部追加】	小論文、適性検査（美術）、面接*（プレゼンテーションを含む）
		現代教育実践コース 環境教育プログラム	小論文、面接*
		ものづくり技術コース	適性検査（プレゼンテーション（質疑応答を含む））、面接*（口頭試問を含む）
	中等教育専攻(B類)	音楽コース	小論文、適性検査（音楽特技）、面接*（口頭試問を含む）
		美術コース 【R5.11.9 一部追加】	小論文、適性検査（美術）、面接*（プレゼンテーションを含む）
		保健体育コース	小論文、面接（個人面接）（プレゼンテーションを含む）
		家庭コース	小論文、面接*（プレゼンテーションを含む）
教育支援課程	教育支援専攻(E類)	技術コース	適性検査（プレゼンテーション（質疑応答を含む））、面接*（口頭試問を含む）
		情報コース	小論文、面接*（口頭試問とプレゼンテーションを含む）
		生涯スポーツコース	小論文、面接（個人面接）（プレゼンテーションを含む）

「小論文の概要」「適性検査・特技の内容」については、令和6年度に公表する「令和7年度入学者選抜要項」「令和7年度学生募集要項」にてご確認ください。

【総合型選抜】初等教育専攻音楽コース・中等教育専攻音楽コースの「適性検査」、面接における「口頭試問」について
 適性検査は音楽特技を行います。新曲視唱、声楽、ピアノを共通に課し、希望者は管弦打楽器、作曲、音楽学から選択することができます。面接における「口頭試問」には、高等学校で履修する音楽に関する内容を含みます。

【R5.10.11 追加情報の公表】【総合型選抜】初等教育専攻音楽コース（A類）・中等教育専攻音楽コース（B類）の適性検査（音楽特技）について
 A類は次のⅠとⅡのどちらかを選択する。

- Ⅰ 新曲視唱、声楽、ピアノ Ⅱ 新曲視唱、声楽、ピアノ、管弦打楽器
 B類は次の専門分野Ⅰ～Ⅴ（声楽＝Ⅰ、ピアノ＝Ⅱ、管弦打楽器＝Ⅲ、作曲＝Ⅳ、音楽学＝Ⅴ）から1つを選択する。（下線は専門試験、それ以外は共通試験）
 Ⅰ 新曲視唱、声楽、ピアノ Ⅱ 新曲視唱、声楽、ピアノ Ⅲ 新曲視唱、声楽、ピアノ、管弦打楽器 Ⅳ 新曲視唱、声楽、ピアノ、作曲
 Ⅴ 新曲視唱、声楽、ピアノ、音楽学

※詳しい内容・課題は「令和7年度入学者選抜要項」「令和7年度学生募集要項」にてご確認ください。

各出願書類（入学志願者本人が記載する書類を含む 例：入学希望理由書、活動報告書、学修計画書）、その他の事項については、決まりましたら、順次お知らせいたします。

3. 【国際バカロレア選抜】

(1) 出願資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす者

- (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (International Baccalaureate Diploma) を取得した者又は令和7(2025)年3月31日までに取得見込みの者
ただし、国際バカロレア資格を取得見込みで出願し合格した者が、令和7年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格を取り消す。
- (2) 日本語を母語とする者又は国際バカロレア資格の取得において日本語A (S L)・日本語A(H L)・日本語B(H L)のいずれかを履修している者

(2) 東京学芸大学入学試験の出題教科・科目等

課程	専攻(類)	コース・プログラム	出題教科・科目等
学校教育教育員養成課程	初等教育専攻 (A類)	国語コース	面接式問
		社会コース	面接式問
		数学コース	面接式問
		理科コース	面接式問
		美術コース	面接式問
		保健体育コース	面接式問
		家庭コース	面接式問
		英語コース	面接式問 (一部英語含む)
		現代教育実践コース 学校教育プログラム	面接式問
		現代教育実践コース 学校心理プログラム	面接式問
		現代教育実践コース 国際教育プログラム	面接式問
		ものづくり技術コース	面接式問
		中等教育専攻 (B類)	国語コース
	社会コース		面接式問
	数学コース		面接式問
	理科コース		面接式問
	美術コース		面接式問
	保健体育コース		面接式問
	家庭コース		面接式問
	技術コース		面接式問
英語コース	面接式問 (一部英語含む)		
情報コース	面接式問		
特別支援教育専攻 (C類)			面接式問
教育支援課程	教育支援専攻 (E類)	生涯学習・文化遺産教育コース	面接式問
		カウンセリングコース	面接式問
		多文化共生教育コース	面接式問
		情報教育コース	面接式問
		生涯スポーツコース	面接式問